



秋季クラスマッチを開催

10月下旬に秋季クラスマッチが開催されました。春のクラスマッチは雨が降り、天候に恵まれませんでした。今回は良い天気となり、屋内・屋外両方で競技を行うことができました。秋の種目はバスケットボール・バレーボール・キックベース・ラダーゲッター（紐のようなものを梯子型的に投げて点数を競う競技）の4種目。どの種目でも白熱した試合が行われ、クラスの応援も大いに盛り上がりました。特に今回が高校最後のクラスマッチとなる3年生は、試合にも応援にも力が入っていました。



パンフレットの表紙(by 生徒)

～総合優勝したクラス生徒のコメント～

3年間で初総合優勝を飾ることができました。各競技で其々が協力し、頑張ってお楽しみました。

(3年5組ルーム長 K)



バスケットボールは男女混合チームで前半女子・後半男子が試合をしました



キックベースは晴天の下、校庭で



和やかな雰囲気だったラダーゲッター



バレーボールの会場ではネット際の攻防が繰り広げられました



2 学年研修旅行

11月10・11日の2日間、2学年の研修旅行が実施されました。コロナウィルス感染予防対策のため、長野県内と山梨県への旅行となりました。1日目は下伊那地区で満蒙開拓記念館の見学と、ラフティング・マウンテンバイク・ジャム作りなどの体験学習を行いました。2日目は富士急ハイランドを訪れ、思い思いに園内を回りました。当初の予定通りの旅行にはなりませんが、宿泊先では夕食や花火を楽しみ、思い出に残る旅行になりました。



—生徒の感想から—

- ・近い場所での旅行だったが、友達と楽しむことができたし、平和の大切さをより知ることができた。
- ・戦争がどれだけつらく厳しいものだったのか、また日本は戦争の被害者だったのと同時に加害者でもある事実、それを忘れず伝えていくことの大切さを学んだ。
- ・実際に戦争を体験された方のお話を聞いて、つらさや悲しさが伝わり胸が苦しくなった。
- ・平和記念館では知らなかった歴史を知って、当時の人の思いが少しわかった。
- ・長野にもまだまだ知らないところがたくさんあると知り、楽しむことができた。
- ・普段できない体験ができ、大切なお話も聞いて身になったし、楽しい思い出ができた。
- ・集団で動く時に何が大切か、また経験を通して何を生かせるかを考えられた。



部活動の活躍

弓道部 女子個人・団体で北信越大会出場（団体で3位入賞）

11月に新潟県で開催された北信越新人大会に、女子団体及び個人で出場した5人にインタビューしました。

Q：北信越大会に出場しての感想は。また、練習していて苦労したことはありますか。

百瀬奈津さん（2年・榎川中出身）：北信越大会はとにかく楽しかったです。この3人ならできる気がしていて、本番も心が1つになった気がしました。苦労したことは肘を痛めてしまい、肘の痛みと闘いながら練習をしたことです。

山本カロリーナユリさん（2年・信明中出身）：初めての会場でいつもと違う環境の中で少し緊張しましたが、楽しかったし、自分の課題にも向き合うことができよかったです。県大会から「口割」や「会」がうまく取れなかったのですが、練習して本番ではきちんと取ることができるようになりました。

齋藤愛咲さん（2年・岡谷西部中出身）：会場こいたどの人たちよりも自分たちが一番チームワークが良かったと思います。いつもの練習よりも良い結果を出せて、気持ちよく終わることができました。矢が飛んでいく位置がなかなか定まらなかったのですが、練習していくうちに的にあたるようになりました。

塩原鈴奈さん（1年・塩尻西路中出身）：本当に貴重な体験をすることができました。いつもと違う会場で練習させてもらい、先輩の試合も見せてもらって、個人戦にも出場することができてよかったです。「離れ」がうまくできなかったのですが、きちんと伸び切って離すことを意識したら的にあてることができるようになりました。

市川川夜さん（1年・波田中出身）：個人戦ではなかなか（的に）あてることができませんでした。矢が的の前に行くことが多かったのですが、先輩や友人にアドバイスをしてもらって、少しずつ真すずに飛ぶようになりました。（2年生の）団体戦では調子が良くなり、午後の試合ではよくあてることができました。

Q：今後の目標は？

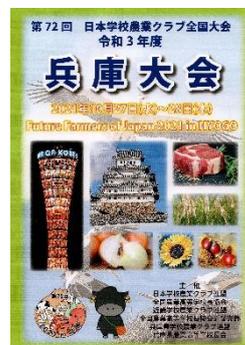
山本さん（部長）：5人立ちで春の全国大会に出場したいです！今回は女子だけでしたが次はできれば男女で。



農業クラブ 日本学校農業クラブ全国大会に出場

10月に兵庫県で開催された農業クラブの全国大会に、本校3年生の小松咲月さん（丘中出身）が出場しました。小松さんが出たのは農業鑑定競技会の園芸部門。提示された写真の花や虫の名前を答える問題（計40問）に1問20～40秒で解答するという競技に取り組みました。小松さんは大会に向けて7月から準備を始め、夏季休業中は学校で1日数時間勉強したこともあったそうです。

小松さん「初めて全国大会に参加して、とてもいい刺激になりました。きちんと計画を立てて勉強したわけではなかったのですが、もっと早くから準備をすればよかったなと思いました。他の長野県代表の人たちと県外に行くことができて楽しかったです。」



ソフトテニス部 女子団体で県大会3位

「もともとベスト8が目標でしたがベスト4まで進み、3位になることができました。団体戦はメンバーの団結力がよかったです。個人戦よりも団体戦の方が安心感がありました。」

県大会の前にミーティングを開いて話し合いをし、改善点を見つけて練習メニューを変えました。そのおかげで自分たちの苦手なところがわかるようになりました。12月に選抜の県大会がありますが、そこでもベスト4を目指したいと思います。」

（部長・大窪百合子さん 副部長・羽場菜桜さん：塩尻中出身）
※12月の選抜大会でも3位に入賞し、北信越大会出場を決めました



剣道部 女子団体で県大会4位

「県大会で上位に入って、北信越大会に出場することをずっと目標にしていたのでうれしいです。このような結果を出せたのは、1人1人が課題を持って自分と向き合いつつ、お互いにアドバイスしながら改善できたからだと思います。」

格技室での練習は夏は暑くて冬は寒く、ケガも多いです。時には辞めたいと思うこともありますが、高校に入ってからには部員と一緒にいるのが楽しいので、練習も頑張ることができます。2月の北信越大会では、とにかく1勝を目指します。」

（部長・武井美侑さん：広陵中出身）

